

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）【児童発達支援】

公表：2023年3月31日

事業所名：たすく療育・鹿児島 保護者等数（児童数） 8 名 回収数 8 名 割合 100%

たすく鹿児島教室（児童発達支援） 令和6年1月調査

| 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表) | | | | | | | | |
|-----------------------|----|---|------|---------------|-----|-------|---|---|
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 75% | 25% | 0% | 0% | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 88% | 13% | 0% | 0% | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 100% | 0% | 0% | 0% | 構造化された空間で活動しやすく工夫されています | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 88% | 13% | 0% | 0% | | |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 88% | 13% | 0% | 0% | | |
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 57% | 29% | 14% | 0% | | 発達に凸凹があるお子さんの多くは、いわゆる「繰り返しの学習」によって長期記憶に働きかける学習が有効です。それにより課題内容に大きな変化がない場合もありますが、それぞれの課題の中で学びのステップやプロンプトの段階等が少しずつ変化しています。よりご家族と共通理解を図って学習を進めていけるよう、職員による説明を徹底します。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 13% | 25% | 25% | 38% | | 毎月イベントを実施し、障害のないお子さんも含めたインクルーシブな活動の機会を創出しています。皆さんに活動をもっと知っていただけるよう、お知らせの内容などを工夫してまいります。 |
| 保護者への説明等 | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 88% | 0% | 13% | 0% | | 全ての方にわかりやすい説明となるよう、オペレーションを改めます。 |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか | 100% | 0% | 0% | 0% | 保護者の勉強会や保護者へのアドバイスなど、とても丁寧に適格に行っていたいたします。 | |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 88% | 0% | 0% | 13% | | 「理解が先」を合言葉に、保護者の子ども理解を最重視した療育と半年に一度アカウンタビリティのための面談を行っています。面談や療育にいらっしゃる保護者の方以外とも情報を共有できるような手段を模索してまいります。 |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 75% | 13% | 0% | 13% | | 毎月、保護者を中心とした家族会や保護者学習会を行い、相互交流の機会の創出と保護者の対応力の向上を図るための支援を行っています。皆さんに活動をもっと知っていただけるよう、お知らせの内容などを工夫してまいります。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 88% | 0% | 0% | 13% | | 「理解が先」を合言葉に、保護者の子ども理解を最重視した療育と半年に一度アカウンタビリティのための面談を行っています。面談や療育にいらっしゃる保護者の方以外とも情報を共有できるような手段を模索してまいります。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 88% | 0% | 0% | 13% | | 毎月月次を発行し、活動概要や行事予定等の情報を発信しています。よりわかりやすく情報をお届けできるよう、レイアウトなどを工夫してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 25% | 13% | 0% | 63% | | マニュアルがわかりにくいというお言葉を受け、改めてわかりやすいものとわかりやすい場所の掲示へと変更いたしました。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 25% | 13% | 0% | 63% | | 半年に一度、避難訓練を実施していますが、未就学のお子さんになかなかご参加いただけないのが現状です。未就学のお子さんが参加しやすい日程や内容の調整を行ってまいります。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 88% | 0% | 0% | 13% | | お子さんの「好子調べ」をご家族と協働で念入りに行い、「動機づけ」をくすぐられるような支援をこれからも模索してまいります。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 100% | 0% | 0% | 0% | 子どもの特性に合わせた個別対応を、しっかりしていただいております。大変満足しています。 | |